

2級の1

2は裏面

第64回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

1

- 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- 大阪商店は、さきに商品 〆600,000 を6か月の均等分割払いで売り渡していたが、本日、最終回の割賦金 〆100,000 を小切手で受け取った。
 - さきに、取引銀行あてに約束手形を振り出して 〆5,000,000 を借り入れていたが、支払期日の延期を申し出て、承諾を得た。よって、新しい約束手形を振り出して旧手形と交換した。なお、支払期日の延期にともなう利息 〆25,000 は現金で支払った。
 - 鳥取商店から商品 〆940,000 の貨物引換証を受け取り、代金は得意先山口商店あての為替手形 〆700,000 を振り出し、山口商店の引き受けを得て鳥取商店に渡した。なお、残額は掛けとした。
 - 滋賀商會の本店は、広告料 〆380,000 を支払ったさい、金額を本店の広告料として処理していたが、このうち 〆80,000 は支店の負担分であることが判明したので、本日、これを訂正した。(本店の仕訳)
 - 島根商事株式会社は、会社設立後、開業準備のために直接要した諸費用 〆2,300,000 を小切手を振り出して支払った。なお、この諸費用は繰延資産として処理することにした。
 - 岡山建設株式会社は、額面 〆25,000,000 の社債を抽せんによって償還することを決定した。
 - 和歌山商事株式会社は、法人税・住民税および事業税の確定申告をおこない、〆1,900,000 を現金で納付した。ただし、未払法人税等勘定の残高が 〆1,900,000 ある。

2

- 次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。
- ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - すでに記入してある取引も転記すること。
 - 総勘定元帳・売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳を用いている。

取 引

- 1/月22日 京都商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
- A 品 600個 @ 〆490 〆294,000
- 24日 京都商店に売り渡した上記商品について、次のとおり値引きをおこなった。
- A 品 80個 @ 〆100 〆8,000
- 29日 奈良商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手 〆8で受け取り、ただちに当座預金とした。
- B 品 400個 @ 〆650 〆260,000

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 兵庫商店(個人企業)の下記の損益勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 仕 入 高 損		b. 期 首 資 産 益		資 料	
12/31 仕 入	2,100,000	12/31 売 上	3,160,000	i 期首の資産総額	〆
" 給 料	450,000	" 減価償却費	130,000	(うち商品)	〆450,000)
" 雑 費	17,000	" 雑 費	463,000	ii 期首の負債総額	〆860,000
" 資 本 金	463,000	" 雑 費	17,000	iii 期末の資産総額	〆2,830,000
	<u>3,160,000</u>		<u>3,160,000</u>	(うち商品)	〆420,000)
				iv 期末の負債総額	〆970,000
				v 期間中の追加元入額	〆1,20,000

- (2) 関西商店(個人企業)の本店および支店の貸借対照表と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。

a. 本支店合併の商品 b. 本支店合併の買掛金 c. 本支店合併の当期純利益

本店 貸借対照表

支店 貸借対照表

平成〇年/2月31日

平成〇年/2月31日

本店 貸借対照表			支店 貸借対照表		
資 産	金 額	負債・資本	資 産	金 額	負債・資本
現 金	650,000	支 払 手 形	現 金	230,000	支 払 手 形
当 座 預 金	2,740,000	買 掛 金	当 座 預 金	480,000	買 掛 金
売 掛 金	1,860,000	資 本 金	売 掛 金	590,000	本 店
商 品	790,000	当 期 純 利 益	商 品	310,000	店
備 品	1,320,000	当 期 純 利 益	備 品	560,000	当 期 純 利 益
支 店	760,000	当 期 純 利 益	支 店	2,170,000	当 期 純 利 益
店	<u>8,120,000</u>	当 期 純 利 益	店	<u>2,170,000</u>	当 期 純 利 益

未 達 事 項

- 本店から支店に発送した商品 〆 (原価) が、支店に未達である。
- 支店で本店の買掛金 〆60,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- 本店で支店の従業員の旅費 〆20,000 を立て替え払いしたが、この通知が支店に未達である。
- 支店で本店受取分の手数料 〆70,000 を受け取ったが、この通知が本店に未達である。

2級の2 1は表面

第64回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1時間 30分)

財団法人全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

平成19年6月24日実施

4

中国商店の6月23日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

6月23日 広島商店に商品 242,000 を売り渡し、代金のうち 300,000 は同店振り出しの約束手形#29で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上伝票	
振替伝票(借方)	振替伝票(貸方)	仕入伝票		仕入伝票	
当座預金 170,000	受取手形 170,000	大竹商店 345,000		玉野商店 198,000	
買掛金 46,000	当座預金 46,000	尾道商店 157,000		倉敷商店 371,000	
当座預金 149,000	売掛金 149,000	呉商店 184,000		真庭商店 252,000	
買掛金 250,000	支払手形 250,000	福山商店(戻り) 20,000		津山商店(値引) 13,000	
消耗品費 28,000	当座預金 28,000			新見商店 150,000	
() ()	() ()	() ()		() ()	

5

近畿商店(個人企業 決算年/回 /2月31日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- 付記事項の仕訳を示しなさい。
- 整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高		元帳勘定残高	
現 金 2,040,000	当 座 預 金 2,040,000	受 取 手 形 1,400,000	有 価 証 券 1,620,000
売 掛 金 2,100,000	貸 倒 引 当 金 25,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 900,000	借 入 金 600,000
繰 越 商 品 1,040,000	備 品 1,600,000	借 入 上 16,580,000	給 料 2,760,000
支 払 手 形 1,250,000	買 掛 金 1,782,000	消 耗 品 費 106,000	租 税 公 課 85,000
従 業 員 預 り 金 146,000	資 本 金 5,000,000		
受 取 手 数 料 248,000	仕 入 金 1,241,000		
支 払 家 賃 600,000	保 険 料 96,000		
租 税 公 課 85,000	雑 費 53,000		

付記事項

① かねて買掛金支払いのために振り出していた約束手形 1,000,000 が、期日に当座預金から支払われていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 1,150,000 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 貸倒引当金 取得原価 1,600,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は8年とし、定額法による。
- 備品減価償却高 有価証券は、売買を目的として保有する姫路商事株式会社の株式30株(帳簿価額 @ 54,000)であり、1株につき 57,000 に評価替える。
- 有価証券評価高 32,000
- 消耗品未使用高 32,000
- 家賃前払高 支払家賃のうち 240,000 は、本年10月から翌年3月分までを支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 利息未払高 4,000

4

仕訳集計表
 平成〇年6月23日

借方	貸方	科目	金額	借方	貸方
		現金			
		当座預金			
		受取手形			
		売掛手形			
		支払手形			
		買掛金			
		売上			
		受取手数料			
		仕入			
		消耗品費			

5

(1)

借方	貸方
①	

(2)

借方	貸方
a	
b	
c	

借方	貸方
d	
e	
f	
g	

損益計算書

(3) 近畿商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高		売上高	
仕入高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給料	()		
()		受取手数料	()
()			
支払家賃	()		
保険料	()		
消耗品費			
租税公課			
雑費			
支払利息	()		
()			

貸借対照表

近畿商店 平成〇年/2月3/日

資産	金額	負債および資本	金額
現金		支払手形	
当座預金		買掛金	
受取手形		借入金	
貸倒引当金	()	従業員預り金	
売掛金	()	()	
貸倒引当金	()	資本金	()
有価証券			
商品	()		
()			
()			
備品	()		
減価償却累計額	()		

試験場校 受験番号

2級の2得点

総得点

借 方		貸 方	
a	現金 100,000	割賦売掛金	100,000
b	手形借入金 5,000,000 支払利息 25,000	手形借入金 5,000,000 現金 25,000	
c	未着商品 940,000	売掛金 700,000 買掛金 240,000	
d	支店 80,000	広告料	80,000
e	開業費 2,300,000	当座預金	2,300,000
f	社債 25,000,000	未払社債	25,000,000
g	未払法人税等 1,900,000	現金	1,900,000

平成○年	勘定科目	摘 要	平 年	2		2	
				売掛金	諸口	当座預金	勘定元帳
/ 20	受取手形	前ペーシから 神戸商店 約手	3	963,000	537,000	1/1 前期繰越	430,000
	売掛金	掛 け	売2	90,000			受取手形
		C品 500個 @ ¥740					
22	売掛金	京都商店 掛 け				1/1 前期繰越	150,000
		A品 600個 @ ¥490	売1	294,000		20	280,000
24	売掛金	京都商店 掛け値引き					売 掛 金
		A品 80個 @ ¥100	売1	8,000		1/1 前期繰越	540,000
		奈良商店 小切手				31	1,347,000
29	当座預金	B品 400個 @ ¥650	✓		260,000		売 上
				1,347,000	1,077,000	1/31	8,000
31			4		1,347,000		2,424,000
"		総売上高	21		2,424,000		売 掛 金 元 帳
"		売上値引高	21/4		8,000		京都商店
"		純売上高			2,416,000		1/1 前期繰越
						22	294,000
							神戸商店
						1/1 前期繰越	210,000
						20	90,000

3 (1)		b 期首資産		2,137,000	
a	仕 入 高 ¥ 1,180,000	b	買 掛 金 ¥ 1,250,000	c	本支店合併の当期純利益 ¥ 2,110,000
(2)					

4

仕訳集計表

平成〇年6月23日

借	方	平	勘定科目	平	貸	方
	540,000		現金		429,000	
	379,000		当座預金		214,000	
	300,000		受取手形		170,000	
	1,106,000		売掛金		837,000	
	661,000		買掛金		250,000	
	20,000		売上		971,000	
			受取手数料		32,000	
	971,000		仕入		13,000	
	45,000		消耗品費			
	4,022,000				4,022,000	

5

(1)

借	方	貸	方
① 支払手形	100,000	当座預金	100,000

(2)

借		貸	
仕	入	繰越商品	仕
a	繰越商品 1,150,000	繰越商品 1,040,000	仕入 1,150,000
b	貸倒引当金 25,000 貸倒償却 70,000	貸倒引当金戻入 25,000 貸倒引当金 70,000	
c	減価償却費 180,000	備品減価償却累計額 180,000	

借		貸	
有価証券	消耗品	前払家賃	前払利息
d	有価証券 90,000	有価証券評価益 90,000	
e	消耗品 32,000	消耗品費 32,000	
f	前払家賃 120,000	支払家賃 120,000	
g	支払利息 4,000	未払利息 4,000	

(3) 損益計算書

近畿商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費用	金額	売上	益高	金額
期首商品棚卸高	1,040,000	売上	高	16,580,000
仕入	12,410,000	期末商品棚卸高		1,150,000
売上総利益	4,280,000			
給料	17,730,000			17,730,000
(貸倒償却)	2,760,000	(売上総利益)		4,280,000
(減価償却費)	70,000	受取手数料		248,000
支払家賃	180,000	(有価証券評価益)		90,000
保険料	480,000	(貸倒引当金戻入)		25,000
消耗品費	96,000			
租税公課	74,000			
雑費	85,000			
支払利息	53,000			
(当期純利益)	12,000			
	833,000			
	4,643,000			4,643,000

貸借対照表

近畿商店 平成〇年/2月3/日

資産	金額	負債および資本	金額
現金	613,000	支払手形	1,150,000
当座預金	1,940,000	買掛金	1,782,000
受取手形 (1,400,000)		借入金	600,000
貸倒引当金 (28,000)	1,372,000	従業員預り金	146,000
売掛金 (2,100,000)		(未払利息)	4,000
貸倒引当金 (42,000)	2,058,000	資本金	5,000,000
有価証券	1,710,000	(当期純利益)	833,000
商品	1,150,000		
(消耗品)	32,000		
(前払家賃)	120,000		
備品 (1,600,000)			
減価償却累計額 (1,080,000)	520,000		
	9,515,000		9,515,000